

まちづくりビジョン策定委員会（第28回）会議録

■ 日 時：平成27年2月20日（金）午後2時30分～午後4時50分

■ 場 所：みなかみ町役場本庁舎 6階 第2会議室

■ 出席者：

①まちづくりビジョン策定委員会（8／13名）

小林 洋、小野 章一、津久井 功、木村 孝弘、持谷 美奈子、中島 エリ、
金子 崇範、鬼頭 春二

②アドバイザー（1／1名）

平松 庚三

③事務局（まちづくり交流課）（2／3名）

課長 宮崎 育雄、エコパーク推進室 主査 大川 志向

④創生本部

総合政策課 企画GL 櫻井 学

農政課長 原澤 志利、農政GL 原澤 真治郎、

観光課長 澤浦 厚子

■ 配布資料

資料1 観光振興を考慮した里山整備について

資料2 農業法人の設立に向けて

■ 会議内容

1 開会

2 議事

(1) 執行機関とのビジョンの考え方の共有について

- 前回に引き続き、執行機関の各担当課に出席いただき、今後どのようにビジョンを実現していこうとしているのか、また、これまでにどのような検討がなされてきたかなどを報告してもらい、考え方の共有を進める。

■ 里地里山整備について

- ・平成20年10月に森林整備隊を組織し、年100haの森林整備を行ってきた。これまでは森林整備（人工林）を主眼としていたが、今後は観光サイドからの里山整備（天然林や竹林など）を推進することとし、関係部署（観光課やまちづくり交流課など）と連携を強化していく。天然林や竹林の整備は財源が乏しいし、経費も多額であるが、新設された森林環境税（ぐんま緑の県民税）を活用できるし、ふるさと納税の活用も考えられる。
- ・里山が整備されることで、鳥獣害の減少などが期待されているが、現状のやり方（できるところから整備）では、成果はあまり期待できない。必要性が高く成果が見込まれるところから優先的に整備するような中期的なマスタープランを作成し、進捗管理によって毎年見直しをかけていく必要がある。

■ 農業法人の設立について

- ・農政課としては既存の組織（地域農業再生協議会）を基にして法人設立の準備会を設立しようと検討しているようであるが、組織自体が長年にわたって機能していないし、そのために結成された組織ではないのでメンバー構成に偏りがある（様々な分野の人でチームを結成する必要がある）など、その役割を担えないと考える。
- ・どんなによい商品が生産されたとしても品質に見合った価格で売ることが大事で、新しいビジネスモデルを構築する必要があるし、生産だけでなく経営や営業などのノウハウをもった人材をヘッドハントしたり全国に公募したりする必要がある。また、近隣自治体に成功事例があるわけであるからそこをベンチマークとすればよい。

■ 観光分野について

- ・遊休ストックを有効に活用したビジネスプランを構築・実行し、エリアの価値を向上させる手法として、豊島区で開催されたリノベーションスクールをビジョンの項目に追加することとする。町内では、湯原温泉街や町組の商店街、各公共施設などをフィールドとしてその活性化を検討する手法として有効であると考えられる。
- ・観光課としては、「みなかみ観光会議（仮称）」の役場内部の準備会を年度内に立ち上げようと考えている。どのようなメンバーとするかが重要であるし、組織で認識を共有したり、戦略を構築する力を養成・発揮してもらったりする必要がある。また、観光協会などの関連組織を巻き込むためにも事前に下話しておくべき。
- ・アウトドアスポーツ業者など、通年での雇用が困難で、職業としての魅力が低下している。また、結果としてディスカウント合戦になってしまい、安全性の確保がないがしろにされてしまうことが懸念される。アウトドアスポーツ振興条例が制定され、安全基準を明確にするとしているが、第1歩が踏み出せていない。最終的には町をアウトドアスポーツの聖地にして、全国に通用する安全基準や認証制度を町が主導権を握って構築してはどうか。

■ ビジョンの実行と進捗管理について

- ・当初から議論しているように、本委員会の目的はビジョンの策定ではなくて、実行の手伝いをする事。実行されなければ何にもならない。報酬をいただいてやっているわけであるから、ビジョンの行く末を見届ける責任もある。これまで多くの計画が策定で終わってしまっているため、ビジョンの進捗を管理するような組織の設置を答申に含めるべきである。地方創生でも、PDCAサイクルによって、第三者機関等による進捗管理を行うこととしている。

(2) 今後のスケジュールについて

- ・本委員会から中間報告として提案している実行計画の多くが、予算として3月定例議会に提案されているため、議会初日（3月10日）を前にこれまでの審議内容を第1次答申としてまとめ、町長に提出することとする。随時、答申書のドラフトを作成・共有するので、次回の委員会（3月6日）で内容を検証していきたい。
- ・最終的な答申は最終報告会（3月25日）で行うこととし、最終の委員会（3月20日）では、報告内容（プレゼン資料等）の検討を行うこととする。

3 次回委員会の開催について

- 次回の委員会について、次のとおり日時と場所が決まる。

日時：3月6日（金） 午後2時30分から

場所：みなかみ町観光センター 2階 第1会議室

4 閉会